

料金別納郵便
日
日

NUNOのオーガニック・コットン展

2011年4月21日(木) — 5月3日(火)

11:00 — 19:00 定休日：水曜日

表面の19世紀の版画は *Gossypium barbadense*、英語でいうと、ピーマコットンという綿花の品種を見せています。6,000年前からペルーで栽培された、ピーマコットンが、綿花の品種のなかで一番繊維が長く、柔らかくて、質が高いと言われていて、いま世界生産量の8%を占めています。展示会に出る製品のほとんどに、この品種の綿が使われています。インドの綿で織った、ダッカ綿のことを思い出させる、超軽量のスカーフ。カリフォルニア州で栽培されている、天然有色綿の、一本の糸から無縫製のカーディガン、ベスト、Tシャツ。中国の天山山脈の雪融け水で育った綿のタオル。インドのタミル・ナードゥ州の農家栽培綿の毛布とひざ掛け。アフリカのブルキナファソの農村栽培綿のTシャツ。などなど。

特別出演：きびそ（繭の、糸にならない部分）で作られた、帽子、バッグ、わらじ、クッション、間仕切り。

こんな大変なときに、展示会をするかしないか、と結構迷いましたが、姿を見せない不安と緊張が続いている今こそ、集ってわいわいと話したほうが良いと思って、開催します。どうぞいらして下さい。

エルマー・ヴァインマイヤー

ギャラリー 日日 東京

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-43-12

Tel./Fax. 03-3468-9270

www.nichinichi.com mail@nichinichi.com



インド、アメリカ、中国、アフリカの生産者の、
より質の高い、より環境に優しい綿の栽培への熱い思い。

+

日本の職人の知恵とすぐれた技。

+

NUNOの須藤玲子さんの垢抜けた発想と創造力。

=

NUNOのオーガニック・コットン